

授業科目 基礎作業学実習Ⅱ

【担当教員名】 榎本郁子 他	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

作業療法士として作業活動を治療、指導、援助に適切に使用するために、具体的な作業活動について必要となる基本的知識および技法を習得する。そして、これらを基に基礎作業学概論で学習した作業分析を試み、作業に内在する各種治療的要素とその利用方法について学ぶ。

<行動目標：S B O>

1. 各作業の工程を説明できる
2. 各作業に必要な用具（道具）・材料を列挙し、その使用法を説明できる
3. 各作業に必要な技法（技術）を体験する
4. 各作業に必要な注意事項を列挙できる
5. 材料・用具（道具）を責任もって手入れし、管理できる
6. 自分で作業を指導する際に必要な材料・道具などの購入先、購入方法を説明できる
7. 作品を完成させる
8. 作業の包括的作業分析が出来る
9. 各作業を通して、生理的、心理的、社会的、文化的関係について自分の意見をまとめることが出来る

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	陶芸 * グループ分けして左記の作業を行うために、作業活動は順不同となる 木工 織物	1	実習 榎本 他
2		~	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	図画工作・美術用具用法事典	相田盛二	日本文教出版	2001（第2版）¥3,204（税込）
参考書	陶芸・やきもの作りの実際、図解・手織りのすべて、作業・その治療的応用 図でわかる電動工具			
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席 30%、提出物（作、レポートなど）50% 授業参加態度 20%	【履修上の留意点】 実技中心の授業の為出席が必須条件、遅刻厳禁 提出物の期限厳守 作品を完成するために授業時間外も利用しなければならないことがある
---	--